



建築とっとり

No.103

2023.3





建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会

CONTENTS

巻頭言 ■ 広田 一恭 倉吉市長	4
「活気あふれる元気な倉吉」を目指して	
メッセージ ■ 井手添 誠 会長	5
支部の動き ■ 塚田 隆 副会長（東部担当）	6
藤原 賢治 副会長（中部担当）	7
吉田 成年 副会長（西部担当）	8
委員長の挨拶 ■ 足立 收平 総務企画委員会委員長	9
丁田 勝功 広報編集委員会委員長	
来田 信浩 業務技術委員会委員長	10
藤原 賢治 木造住宅耐震診断委員会委員長	
■ 鳥取県との意見交換会報告	11
国土交通大臣表彰受章 ■ 中山 晴文 株式会社 なかやま	12
日事連年次功労者表彰受章 ■ 聲高 昌可 田中工業株式会社設計事務所	13
県外研修報告 ■	14-17
クローズアップ ■ 永田 靖 有限会社フジイ総合設計事務所	18
■ 穉近 亮士 クリバー一級建築士事務所	19
特 集 ■ 鳥取県立美術館	20-25
会員作品紹介 ■ 株式会社白兎設計事務所	26
株式会社リンクス	27
賛助会員のページ ■	28-33
事務局だより ■ 会議報告、会員の異動、行事予定	34-35



表紙

鳥取県立美術館着工前の建設予定地

「活気あふれる 元気な倉吉」を目指して



倉吉市長
広田 一恭

1. はじめに

昨年4月に、多くの成果、実績を積み重ねてこられた石田前市長から倉吉市政をバトンタッチさせていただき、市民の皆様の期待の声に応えるべく、全力で倉吉の元気づくり、活気づくりを努めて参りました。

就任後、4月から連続3ヶ月にわたって補正予算を計上し、喫緊の課題としました「新型コロナの感染防止対策と疲弊した地域経済の立て直し」に取り組んで参りました。

飲食業や宿泊業など影響の大きかった事業者はもとより影響を受けた全業種を対象にした「がんばる事業者福高（ふっこう）応援事業」や「経営者チャレンジアップ事業」のほか、タクシーや代行にも活用できる倉吉観光応援クーポンを発行する等事業者支援にも努めています。

しかし、オミクロン株を中心とする新型コロナウイルス感染拡大の長期化等により未だ回復には至っていません。さらには、ロシアによるウクライナ侵攻や円安など、物価高騰による影響も大きくのしかかり先が見えない状況が続いています。

今後も長引くコロナ禍の中で疲弊した地域経済の再生・復興に引き続きしっかりと取り組んで参ります。

2. 若い世代の地域からの流出防止・活気あふれる 元気な倉吉

(1) 対話と現場主義

またそのような中で、やはり一番の問題は人口減少問題であります。若い方々の市外流出を食い止める、或いは大学への進学等で一時的に都会に出て卒業後にはふるさとに戻って頂くなどの施策、さらには若者が定着する子育て環境の充実などは喫緊の課題であります。これらの課題解決に向けて、直接若い人達から意見を聞く場である、『元気な倉吉づくり会議「市長と“はなし”しよいや」』を展開しています。

倉吉市内には、世界を相手にしている企業や日本の主要メーカーとも密接に関係している優良事業者も多くあり、これらの市内各企業を紹介する電子情報パンフレットを作成して、中学、高校の生徒さんのみならず、保護者の皆さんにも情報提供する取り組みも大学生からの意見を参考にした施策であります。

多くの市民の皆さんの意見をU・I・J ターンの促

進や子育て環境の充実など人口減少問題に対する各種施策の構築に役立てているところであり、この「市長と“はなし”しよいや」事業も引き続き実施して参りますので、ご参加ご協力よろしくお願いします。

(2) 県立美術館と地域資源を活かした、賑わいのあふれる元気なまちづくり

さて、活気あふれる元気な倉吉を目指すうえで、大きな期待が寄せられている県立美術館も工事が着々と進んでおり、倉吉を大きく発信できる象徴的な施設となるよう引き続き盛り上げていきたいと思っています。2年後のオープン後には、県内外から多くの方が訪れ、企画展などはリピーターの往来も大いに期待できるところであり、これらの皆様を赤瓦や円形劇場、小川氏の庭園など周辺の素晴らしい観光資源へと導いて、滞在型観光に繋げる取り組みの準備も進めているところです。

また、美術館が完成する頃には、現在、民間活力を最大限に導入し再生に向けた取り組みを進めている「旧倉吉市国民宿舎グリーンスコーレセきがね」が完成し、関金温泉を象徴する持続可能な中核施設となることを大いに期待しているところです。

昨年は、ループバスやグリーンスローモビリティといった電動車を活用した住民や観光客の移動手段の導入を検討する実証実験「うつぶきつながるモビリティ」事業や美術館開館機運醸成支援事業などを進めたところであり、久々に日本女性会議やPTA中国大会のような交流人口の増大に繋がるイベントも盛大に開催できました。引き続き、令和7年の美術館開館も見据えた賑わいのある元気な街づくりを目指して各種取り組みを積極的に進めて参りたいと思います。

3. さいごに

市政運営も2年目を迎えますが、第12次倉吉市総合計画の将来像である「元気なまち、くらしよし、未来へ！」を実現するため、平行して展開する倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略と連動した施策を進め、市民の皆様とともに元気な倉吉づくりに引き続きしっかりと取り組んで参りますので、ご支援、ご協力をお願いします。

最後になりますが、今年1年が災害のない健康で実り多い年になりますことを祈念してご挨拶とさせていただきます。



会長メッセージ

会長 井手添 誠

令和4年5月20日に行われた定時総会におきまして、一般社団法人鳥取県建築士事務所協会の会長をさせていただくことになりました井手添と言います。よろしくお願いいたします。日頃より協会に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、今年の秋には、鳥取県と島根県の建築士事務所協会共同主管により、第45回建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)を行います。令和5年10月13日に鳥取県米子市の米子コンベンションセンター・ビッグシップを中心に開催いたします。鳥取県は、県民数が55万人と都道府県のなかで、一番少ない県になります。日本の全人口の0.45%しかいません。その次に人口が少ない県が島根県です。二つの県を合わせても、全人口の1%になりません。この全国一番・二番の小さい県で、はじめて2県共同開催による「建築士事務所全国大会」を開催します。人口が少ないとは、相対的に建築士事務所の数も少ないということです。今まで各都市で開催していたような派手な大会ではなく、コンパクトな代わりに“おもてなしの溢れる”大会にしたいと考えております。「史上最もコンパクトで、持続可能性、効率性、そして人の心を結ぶ大会」

これは東京オリンピック2020の誘致活動をしていたときに使用されていたスローガンです。このような気持ちを持って少ない会員数でも持続して開催できる全国大会になることを願っています。一昨年から鳥取県建築士事務所協会内部に大会実行委員会が立ち上がっており、各部会で活動していただいています。正会員の皆さまはもとより、賛助会員の皆さまにもそれぞれの部会に配属いただき、大会を成功裡に進めて行きたいと思っております。皆さまのご協力を

お願いいたします。

会長に就任させていただいたのと同時に、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会の副会長をさせて頂く事になりました。

令和4年9月29日から30日まで3年振りの全国大会が熊本市で開催されました。次年度が鳥取・島根大会ということもあり、鳥取会から31名参加していただきました。例年と異なり観光が少ない研修旅行でしたが、次年度に向けて良い体験となりました。

令和4年12月14日に東京都の銀座東武ホテルにて、創立60周年シンポジウム・記念式典が開催されました。「次世代を生き抜く建築士事務所の課題と日事連の役割」と題しまして、日経アーキテクチュアのイラストを使った建築巡礼で有名な前編集長の宮沢洋氏をコーディネータとしたシンポジウムが開催されました。パネリストの皆さんは若い建築士の方で、次世代を感じさせる内容でした。懇親会は久しぶりの立食形式で、自由民主党建築設計議員連盟の方々が順番に登壇され賑やかに開催されました。

現在、新型コロナの蔓延と昨年始まったロシアによるウクライナ侵攻の影響で急激な円安が進んでいます。輸入資材の値上がりにより建築資材が高騰しています。建築の建設単価も上昇の一方です。人件費は昨年に比べ上昇していないため、資材の値上がり価格をそのまま工事価格に反映するのも困難な状況が続いております。「コロナ禍」第8波の影響も懸念されておりますが、本年こそウィズ・コロナの「新しい生活様式」になり、経済が正常化していく事を願っています。

今年の干支は卯年です。株式市場では、卯(うさぎ)は「跳ねる一年」と言うそうです。皆さま各企業の業績が跳ね上がるでありますように祈念いたします。

副会長（東部担当） 塚 田 隆



今年度も昨年同様コロナ禍で思うような活動ができませんでした。しかし、PFI/PPPの発注方式に対して建築関連4団体連名で鳥取市に対して意見交換会及び、要望書を提出いたしました。それにつきまして、三方よしから学ぶ公共工事発注方式について要約と意見を述べさせていただきます。

近江商人の経営哲学のひとつとして「三方よし」（さんぼうよし）が広く知られています。

「商売において売り手と買い手が満足するのは当然のこと、社会に貢献できてこそよい商売といえる」という考えです。

社会の幸せを願う「三方よし」の精神は、現代の日本におけるCSR（企業の社会的責任）の原点の一つとして頻繁に耳にするようになり、多くの企業の経営理念の根幹となっています。自分にとって良いことを行い、それが相手にとっても良いこととなり、さらに世間の皆にとって良いこととなるべく行動すること、すなわち「売り手よし、買い手よし、世間よし」を説いています。

さて、わが国のPPP/PFIは、1999年のPFI法施行から2023年2月で24年を迎えました。内閣府のPFI事業の実施状況の調査によりますと2020年度末までに実施された累計のPFI事業数は、875件と公表されています。この中には何らかのトラブルが発生し、そのトラブルが原因で残念ながら事業の中止、中断や契約解除に至った

事例も存在しています。一方でPPP/PFI事業の今後を考えるうえでPPP/PFI事業のメリット・デメリット、事業に係るトラブルの背景や要因の分析・整理に関する重要性は高まっていますが、これらに関する資料等は極めて少ない状況にあります。

今後のPPP/PFI事業が発注者・受注者・利用者がお互いに何百年も前から日本に根付いてきた三方よしの関係でいられる為には、今一度歩みを止めて三者の合意を得ながら、再構築する必要があると思います。

特にPPPという名の元で行われているDB（デザイン・ビルド）方式による発注につきましては、三方よしとはならない為、長年公共工事で培ってきた競争原理が働きコストの透明性が図りやすく、発注者・設計者・監理者・施工者そして利用者が明確な立場に立ち責任を負って進められてきた「設計・施工分離方式（従来型）」のメリットを再認識し、発注方法を再構築する「プラットフォーム：議論と情報共有の場」が必要であると思います。

<引用文献>

- ・トラブル事例によるわが国PPP/PFI実施上のポイント
一般財団法人日本経済研究所
調査員 主任研究員 生田 美樹
- ・三方よしを世界に広める会
- ・日経ビジネス CSRと日本型経営の関係とは
求められる発信型の「三方よし」
慶応義塾大学商学部教授 岡本 大輔

一木会 令和4年度の活動報告

■一木会ゴルフ同好会

開催日 令和4年5月28日(土)

場 所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 白兎コース

参加人数 20名



■一木会釣り同好会

開催日 令和4年7月8日(金)
7月29日(金)

場 所 鳥取港沖

参加人数 延べ18名



■第1回一木会例会

開催日 令和4年12月1日(木)午後5時40分～

場 所 しいたけ会館 対翠閣

参加人数 41名

- 内 容
- 1) 委員会報告
 - 2) 賛助会 企業PR
 - 3) 忘年会



■鳥取市へ要望書提出

開催日 令和4年6月6日、令和5年2月8日

提出先 鳥取市長、鳥取市市議会議長

要望内容 『公共建築工事の発注方式について』

- 提出者連名
- ・鳥取県東部建設業協会
 - ・鳥取県建築士事務所協会東部支部
 - ・鳥取県管工事業協会東部支部
 - ・鳥取県電業協会東部支部



令和4年5月より、副会長（中部担当）をさせていただいています。

コロナ禍で思うように例会を行うことが出来ず5月20日に総会、例会は5月と10月のみになりました。幹事会は3回行いました。

コロナの終息が見えない状況ですが、政府も本年5月にはウィズコロナへと大きく舵取りをしますので、2023年は2019年並みに例会を開催したいと考えています。

今年度は数少ない交流機会となりましたが、それでも

情報交換はある程度行えたのではないかと思います。

令和5年度は10月に米子での全国大会も控えています。情報の共有と情報交換の機会をできるだけ多くし実のある例会を考えていきます。

鳥取県・島根県共同開催という初めての大会になります。

小さな二つの県ですが、全国から鳥取県に来てくださる方に、感動と心に残る大会を目指して、全国大会実行委員会では日夜検討を重ねています。

会員皆様の協力よろしくお願いします。

一水会 令和4年度の活動報告

■鳥取県建築士事務所協会 中部支部（一水会） 通常総会

開催日 令和4年5月20日（金）

場 所 倉吉シティホテル

参加人数 19名

■6月例会

研修内容 「コロナ禍後の消費者意識の変化と
それに応じた衛生機器について」

講 師 TOTO株式会社 山陰営業所 鳥取エリアチーム
河上 美恵 氏

同行者 // 若宮 徹 氏

開催日 令和4年6月1日（水）

場 所 倉吉シティホテル

参加人数 40名



■10月例会

研修内容 「地質調査 あれこれ」

講 師 シンセリティ・コンサルタント
田代 行男 氏

開催日 令和4年10月5日（水）

場 所 セントパレス倉吉

参加人数 41名



■建築士事務所キャンペーン「健康住宅セミナー」

（一社）鳥取県木造住宅推進協議会主催「この住まいフェア2022」にて無料セミナーを開催

建築に関する事のアンケートを取りました。

相談員 丁田勝功、尾崎浩秀、藤原賢治

開催日 令和4年11月26日（土）

場 所 新日本海新聞社 中部本社



副会長（西部担当） 吉田 成年



日本で新型コロナが2020年1月に確認されてから約3年。見えない影に怯えながら毎日を過ごしてきましたが、ここにきて少しずつ色々な社会の活動も動き出し、コロナと共存しながらではありますが、普段の生活を取り戻しつつあります。ただ、依然ウクライナでの戦闘は先が見通せない状況であり、北朝鮮の挑発行動もあり、まだまだ世界の人々が平和に過ごせるには時間がかかりそうです。経済では様々な物が値上がりし、我々の建築に関しても大きな影響を受けつつあります。この先、いろんな事が早く落ち着くことを祈ることしか出来ませんが、そんなことに負けず前に進んでいかなければなりません。

1年延期になった鳥取・島根合同で開催する建築士事務所の全国大会も、いよいよ10月に米子で開催されます。各部長さんを中心に大会を成功させるために動き出していますが、会員の皆様、そして賛助会の皆様全員

の力をお借りしないと大会は成功しません。どうか積極的に参加・協力をお願いいたします。予算も限られた、全国一、二の小さな県が開催する大会ですが、皆様の記憶に残るような素晴らしい大会にしたいものです。

我々の業務に関しては、2024年から大規模な非住宅建築物の省エネ基準が変わったり、2025年4月から全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合が義務付けられます。また同じ2025年4月からこれまでの4号特例が変わり、木造戸建て住宅を建築する場合の建築確認手続きが見直されます。とても大きな建築基準法の改正が目前に迫ってきています。

時間が増えたり、建築コストがあがったりということになりますが、これが将来振り返った時に日本の建築にとって良かったと思えることと信じて、私達もそれに対応して研鑽し良い建築を作り出していきたいと思います。

山水会 令和4年度の活動報告

■6月例会

開催日 令和4年6月29日(水)

場所 米子食品会館

参加人数 約35名

米子市建築指導課 神門課長補佐や担当者の皆様により①建築物の建築行為等における都市計画法に関する事前協議について②米子市都市景観施設賞の募集について③建築行政に関する最近の動向について講演して頂きました。



■10月例会

開催日 令和4年10月19日(水)

場所 米子コンベンションセンター

参加人数 33名

当協会理事で鳥取県建築設備設計事務所協会会長の守山康仁様による「日本百名山を何故私は踏破したのか～病を克服して～」の演題で講演頂きました。

実際に日本百名山を登攀された守山氏のエピソードや山の魅力・自分自身の病気を克服しての達成できたことなどについて、楽しく貴重なお話を聞きました。



■建築士事務所キャンペーン

開催日 令和4年10月15日(土)

場所 米子産業体育館

木の住まいフェア会場
で住まいの無料相談会を開催いたしました。

コロナの影響で2年間中止となっていたが、徐々に予約制ではありましたが開催出来ました。

当日は7件の相談があり、併せておこなったお住まいの地盤カルテの作成も30件あまり行いました。今年は入場制限もなく開催されるといいのですが。



■2022秋の合同ゴルフコンペ

開催日 令和4年11月1日(火)

西部支部山水会と建築士会西部支部合同のゴルフコンペを大山アークカントリークラブで開催しました。

■12月例会(忘年会)

開催日 令和4年12月7日(水)

場所 皆生温泉 皆生つるや

参加人数 35名

夏の納涼会がコロナの拡大で開催出来なかったのですが、忘年会はなんとか開催出来ました。多くの方に参加して頂き、楽しい時を過ごしました。

総務企画委員会

委員長 足立 収平

総務企画委員会委員長と第45回建築士事務所全国大会（鳥取・島根大会）が令和5年10月12、13日に米子コンベンションセンター、ANAクラウンプラザホテル米子、米子ワシントンホテルプラザで島根会と共管で開催されます。大会実行委員長も兼ねています。

今年度は大会のための準備、実行を全会員、賛助会員の協力をいただいて成功に導いていただければなりません。現在実行委員会を組織し会議を重ねています。地方らしい大会を目指します。業務担当は部会長を西部支部中心に決めています。総務企画部（総務。財務。

全体スケジュール。各種発注）事業部会（講演会。会場設営等）広報・編集部会式典部会（式典運営。式典会場）懇親会部会（懇親会。移動。警備）その他青年和創会部会、賛助会部会。女性交流会各部会長、副部会長は決定して活動をしていただいています。全会員を今後各部会に張り付けますので重ねて協力の程よろしく願いいたします。



広報編集委員会

委員長 丁田 勝功

今年度より、広報編集委員長を務めさせて頂きます。

藤原担当副会長はじめとして、各支部の副委員長、各委員の方々のご協力のもと、努めて参ろうと思います。

当委員会は、当協会の会報誌「建築とつとり」の企画・発行が主な活動です。

広報誌は、厚口上質紙で発行されますので、先々の貴重な設計資料となり、また多くの方々が目にされる機会が増えればと思います。

これらは、会員・賛助会員の皆様のご協力が有って、はじめて発行出来ます。

皆様のところに原稿・作品紹介の依頼、および広告掲載の募集の案内が参りましたら、快くご協力の程よろしく願いします。そして、

今年度も鳥取県木造住宅推進協議会主催の「木の住まいフェア」に参加し、「住まいの無料相談会」を実施しました。

今後についても、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



令和4年度より、業務技術委員長を仰せつかっております来田です。2年の任期の内、ほぼ1年が過ぎようとしているこの時期に、新委員長の挨拶文を不思議な気分を書いております。

当委員会の役割としましては、県外研修会の開催、各種研修・講習会の開催時の受付・補助、木造住宅耐震診断業務、建築士事務所賠償保険制度への加入促進があげられます。

その内、県外研修はコロナ禍にあって開催できない年もありました。しかしながら令和4年度は、令和5年度に建築士事務所全国大会・「鳥取・島根大会」が米子で開催されることもあり、視察を兼ねて熊本での全国大会に参加し県外研修を行いました。米子での全国大会に向けて大変に有意義な県外研修だった

と思います。

令和5年度は、各委員会の役割を超えて全国大会の成功に尽力を尽くさなければなりません。委員会として何ができるのかではなく、事務所協会員として何ができるのかを考え、実行する年になります。これでは委員長挨拶らしからぬ文面なのですが、今年はそういう年だと考えています。

会員の皆様、建築士事務所全国大会・「鳥取・島根大会」の成功に向けて、がんばりましょう。



木造住宅無料耐震診断の診断件数は年々増えつつあり、県民の皆さんにも耐震に関する意識は高まっていると思います。

ただ、耐震診断を行っても耐震改修工事まで行われている件数は伸びていないのが現状です。

昨今の建設費高騰の影響もあり、改修工事に補助金を充てても自己負担が増えている状況です。低価格でも効果の高い工法の普及が必要であると考えます。

災害が身近に迫っていることは、報道でもたびたび取り扱われています。

生命と財産を守るために、耐震改修工事の普及を訴える事も我々の責務だと思います。

今年度診断実績棟数

鳥取市	69棟
倉吉市	23棟
米子市	34棟
境港市	35棟
岩美町	3棟
八頭町	4棟
北栄町	4棟
三朝町	1棟
伯耆町	1棟



意見交換の概要

- 1.開催日時：令和4年11月7日(月)13:30～
 2.開催場所：鳥取県庁第2本庁舎9階 第20会議室
 3.出席者

【鳥取県総務部営繕課】

課長：下田 悟
 参事：山下 哲也
 課長補佐：細田 尚志、松岡 正徳、神谷 朋之
 係長：衣笠伸一郎、永見 明

【(一社)鳥取県建築士事務所協会】

会長：井手添 誠 副会長：塚田 隆、藤原 賢治、吉田 成年
 東部支部：西村 純一
 中部支部：長谷川 聖
 西部支部：足立 收平
 事務局長：田栗 稔裕

4. 意見交換議題及び概要 【協】：建築士事務所協会、【県】：営繕課

議題1 法改正等に伴う講習会の充実について

- 【県】 法改正に伴う講習会は、WEBによる受講が可能なケースも増えており、貴会にも案内している。また、事務所協会主催の管理研修会において、法改正の動向や概要についても説明しているので参加頂きたい。条例改正については、福祉のまちづくり条例のような影響が大きい場合は、改正案の検討時、公布後など複数機会を捉え説明会を開催している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響からWEB開催が増えているので、説明会を録画した動画を配信するなどの取組みを進めたい。
- 【協】 広く閲覧できるよう、可能な限り動画をサイトにアップしてほしい。

議題2 PFI事業の再検討について

- 【県】 県が発注したPFI事業は過去に3事業(水力発電施設・美術館・西部総合事務所新棟)のみであり、ご指摘のような10億円に満たない新築工事等に解体工事などを含めてPFIとして発注されている事案については確認できない。
市町村発注業務においては各市町村において業務に係る規程を策定し、対象業務を決定している。
- 【協】 市町村には、県の指導は届かないという理解でよいのか？また、PFIにしないと国の補助が受けられないと聞いたことがあるが？
- 【県】 県が市町村を指導する立場にはない。また、そのような補助金の話は聞いたことがない。
20億くらいのPFI事業を応募するために、設計事務所はどの程度経費を負担することになるのか。
- 【協】 設計事務所への負担が多い。基本設計レベルまで資料を作成する必要があるため、工事費の1.0～1.5%程度かかる。構成員で負担する場合もあるが、建築士事務所が負担するケースもある。東部の市に対し、提案書の負担軽減のため、図面以外の書類を減らすよう要望した。
- 【県】 実情は理解した。

議題(3)実施設計の設計意図伝達業務について

- 【協】 最近の事例だが、改修工事で県担当者からたくさんの質疑があった。設計者に不明点を質問することに理解はするが、負担が大きいのでそろそろ再考してもらいたい。県に負担をかけないようにとの配慮からか、第三者監理者から直接質問があったこともある。
- 【県】 設計意図伝達業務は、H28年度の意見交換でやめることになった。
- 【協】 業務の金額が少なく、やっていられないとの意見が出たようだ。また改修工事の場合、第三者監理がふさわしいかの議論もある。
- 【県】 第三者監理としているのは、新しい目で見ることでもいいものができるという考えから。働き方改革の面から考えると、設計者に監理もしていただいたほうが良い面もある。今後状況を見ながら検討していきたい。

議題(4)BIMを使用する業務の発注について

- 【協】 県内の事業ではBIMは進んでいない。設計施工の場合はメリットがあるが、BIM前提での発注がないから進まない。ソフト代が高額で仕事がな

いから普及しない。病院など設備が複雑なものにはメリットがあるが、市役所建築などにはメリットがない。メリットは建築の用途によるところが大きい。

- 【県】 国では今後5年後をめどに仕様を固めたいとの事であった。積算数量のミスがないメリットもある。お互い協力して導入を進めていきたい。

議題(5)設計業務内容の見直しについて

- 【協】 仕事を増やすように基本設計も発注してほしい。
- 【県】 基本設計については、事業所管課等を交え、改修範囲、工法の精査を適切に行い充実に努めてきた。グレード、イメージができていないようなものは改善しているが今後も内容、精度等については十分留意していきたい。
なお、基本設計の別途発注については、大規模又は難易度が非常に高いなど特別な案件を除き予算化されないで、ご理解頂きたいが、基本設計もどきのようなものの発注などは考えられる。

議題(6)クラス毎のバランスの取れた発注について

- 【県】 近年大型物件も少なく、ランクごとの発注数のバランスが好ましい状態でないことは認識しているが、予算額が年度ごとに変わることから、ランク毎の発注量を毎年度均等に発注することは困難な状況。業務の難易度の調整、まとめ発注などで委託額の調整を行い、少しでも発注量が均等になるよう心がけているのでご理解頂きたい。
従来から要望のある発注区分の変更について、貴協会での検討状況はどうか。
- 【協】 クラス別の発注金額区分の変更案を示すことは協会としては意見の統一は難しい。なおCクラスは改修が多く、100万円ほどの委託料で3現場対応しないといけない。割り増しするか、少額のまま随契で出してもらったほうが良い。
- 【県】 各工事で委託料を積算し、それを合算しているのでそれぞれに経費も見込んである。またクラス分けてBが上下に分かれているが、分ける必要はないのではないか？分けるとしても金額ではなく、難易度で分けるほうが調整しやすい。今後検討していきたい。クラス毎の発注区分のラインの見直しは県の判断でよいのか？
- 【協】 よい。
- 【県】 現時点では、公平を期すためには技術者1人当たりの受注額で考えるしか説明ができないと考えている。今後引き続き研究したい。
- 【協】 県が制度を変更すると、県制度を準用している市町村へも波及することになるので、そのことも加味して検討頂きたい。

議題(7)発注時期の調整について

- 【県】 Cクラスの設計対象事業は、単年度完成を前提としているのでどうしても年度初めに発注が集中することになる。保全計画に基づく修繕工事は前年度設計の予算要求をするなどして、年度内の発注の平準化を進めたい。

5. 鳥取県からの提案議題

- (1) 中規模木造建築物の設計について

6. 鳥取県からの情報提供

- (1) 建築関係建設コンサルタント業務に係る技術者の常勤性について
 (2) 営繕工事設計標準単価の改定について

令和4年度 国土交通大臣表彰 受章

おめでとうございます

(一社)鳥取県建設業協会 理事
(一社)鳥取県西部建設業協会 副会長
米子市建設業協議会 会長
鳥取県建築士会西部支部 常任幹事
西部建設業協同組合 理事
株式会社なかやま 代表取締役



中山 晴文氏

私は2000年4月に先代より会社を受け継ぎ、これまで「県営、市営住宅」「学校」「病院」「保育園」「公民館」などの公共工事をはじめ、高速道路の施設の点検、補修、大企業の本社、工場の建設及びメンテナンス等数多くの建築工事に携わっております。

特異の施工では、神社仏閣の改築、改修工事なども数多く手掛けてまいりました。一般住宅においても数寄屋造り、入母屋造りなど伝統的な建築から、近年のライフスタイルに合わせた現代住宅まで数多くの住宅を、更に増改築（リノベーション）リフォーム工事を手掛け、お客様の快適生活のお手伝いをさせて頂いております。

今、時代の変遷の中、高齢化社会という大きな波を受け止める環境作り、バリアフリー、水廻り等、住む人に合った快適を第一に考え、満足して頂ける生活環境を目指して実現化してまいります。そしてやむなく長年暮らしてきた思い出の家が空き家になってしまう場合もあります。そのときは思い出を大切に残し、次世代の人にその不動産を使っただけの空き家空室対策をお伝えしていこうと考えています。

ライフスタイルが大きく変化する今の時代をお客様と共に、お客様の満足を求め地域の皆様に必要とされるべく社業に邁進してまいります。

さて、この度建設業功労による国土交通大臣表彰受賞の栄に浴しましたことは真に身に余る光栄と感謝しております。建設業に関わり四十年間にわたり従事して参りましたが、今日まで長年ご縁を頂いた諸先輩をはじめ関係官公庁、業界、各位の皆様のご指導ご鞭撻の賜物であり深く感謝申し上げます。

今後は微力ながら地域と業界の発展に努めて参る所存で御座います。変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



令和4年度 日事連年次功労者表彰 受章

おめでとうございます

田中工業株式会社設計事務所

取締役会長 聲高 昌可 氏

この度、令和4年度日事連の年次功労者表彰を頂き、大変にありがとうございました。

また、第44回建築士事務所全国大会（熊本大会）に参加会員された皆様からも記念品を頂き感謝申し上げます。

40数年前から建築業界に入り、20数年前より事務所協会にも所属させて頂き、多くの皆様との出会いがあり、兼業事務所でありながら、長年事務所協会の理事もさせて頂き、皆様に色々ご指導いただきながら、今日まで頑張れたことと私自身が成長させて頂いたことに感謝いたします。

今後も微力ながら（一社）鳥取県建築士事務所協会並びに業界の発展のため頑張りますので、引き続きよろしくお願いいたします。



● 1 日目

全国大会初日、朝6:04倉吉発のスーパーはくとに乗り、途中岡山駅から新幹線乗り継いで6時間をかけ、ようやく最初の視察先である新八代駅へ到着しました。好天に恵まれ、少し汗ばむくらいの陽気の新八代駅は、田園風景の広がる風景の中で近代的な外観の建物でした。



新八代駅で全員集合

その駅前広場に、乾久美子設計の小さなモニュメントがありました。民家のスケールで建てられたこのモニュメントは、薄いコンクリートの壁に無数の穴が開いている独特の姿で、内部と外部の境があいまいな建物でした。



独特な表情のモニュメント

観光バスに乗り、全国大会の開催される熊本市へ向かうなか、第一弾の視察先として伊東豊雄設計の八代市立博物館を見学しました。建設から30年以上経過していますが、メンテナンスもしっかりされ、建設当時の姿のまま公開されていました。



八代市立博物館

また近くには昨年建設された平田晃久設計の八代民俗伝統芸能伝承館お祭りでんでん館があります。こちらも見ごたえがあり、施設の方に話を伺うと、建築関係者の方などの見学が多いため、独自で作成したA4の建物案内も配布しているとのことでした。

市内の他の伊東建築をバスの中から眺め、30分ほど



お祭りでんでん館

バスに揺られ、次の視察先である、東陽村石匠館へ向かいました。山の中に立つこの建物は故木島安史設計による建物で、先の八代市立博物館の三年後に建設されています。熊本県の南部に位置する八代市東陽町は、山都町の通潤橋など、全国に多くの“めがね橋”を手がけた“石工集団（種山石工）”発祥の地としても知られています。石橋の歴史から、建設方法までを学べる施設で、実際の石の運搬体験や眼鏡橋の原寸大の展示物により、迫力のある体験となりました。建物は丘の上に立つ開放的な八代市立博物館とは異なり、めがね橋でも使われている凝灰岩の壁面を使い、ガラス面の少ない重厚な建物となっていますが、内部には適度に自然光が入り、落ち着いた空間でした。



東陽村石匠館(外観)



東陽村石匠館(内観)

東陽村石匠館をあとに不知火文化プラザ、三角港フェリーターミナルなど熊本アートの一環の建物の視察を行い熊本市へ向かいました。



不知火文化プラザ



熊本城に入ります



三角港フェリーターミナル

全国大会を翌日に控え、その夜は熊本市の和食の老舗「青柳」での食事となりました。

馬刺し、からし蓮根などの郷土料理と地酒を楽しみつつ、次回開催地である鳥取・島根大会のアピール方法の検討・練習を行い楽しいひと時を過ごしました。



郷土料理に舌つつみ

●2日目

午前中は熊本城の視察を行いました。築城の名手・加藤清正によって築かれた熊本城は2016年に発生した熊本地震による被害の復興途中であり元の状態に戻るには20年はかかるとされるということです。2018年に策定された「熊本城復旧基本計画」では5年を短期計画としており、2022年は短期計画の最終年となります。場内は見学通路が設置されており、場内の各所を見学することができるほか改修が終わっている天守も見学することが



修復途中の櫓



修復中の天守(資料)

できました。道中各所ではボランティアガイドのかたが紙面やホームページでは聞けないような現地ならではの詳細な説明をしてくださいました。

私が特に印象に残ったのは、大きく崩れた石垣を元の状態に復元する工事です。崩れた石は全て識別番号がつけられ保管され、PCなどにより過去のデータなどと照らし合わせながら、元の状態に復元していくということで、何年にも渡り一歩ずつ着実に積み上げてゆくこの工事は非常に困難な仕事であるが、完全後は非常に感慨深いものであらうと感じながら熊本城を後にしました。



天守閣前にて

午後からは熊本城ホールに移動し基調公演、ワークショップ、式典参加、記念パーティーに参加しました。2023年度に米子の地で行われる全国大会に向け参加者は各々の担当箇所を念入りに下調べを行なっていました。

基調講演では「これからの社会と建築を考える」というテーマでくまもとアートポリスのコミッショナーを長年務めている伊東豊雄氏により熊本との縁や子供時代の体験などのほか自作の建築の紹介が行われました。話を聞きながら伊東氏には2017年にも鳥取にも来ていただいたことを思い返し、時の流れの速さとともに変わらず活躍されている姿に自分も奮起する機会となりました。

その後行われたパネルディスカッションでは「これからの人・まち・建築を、熊本から考える」というテーマでまちづくりに関する様々な取り組みが紹介され、我々の職業も建築物単体だけではなく、ソフト面やランドスケープまで多岐に渡り、個だけではなく市民とともに作りあげていく事の意義について学びました。



大会会場前に集合



次回開催地挨拶



大会旗を受理しました

大会式典では、日事連建築賞が発表され、年代も若い方が受章されていました。また鳥取会からは髙氏が年次功労者表彰されました。

式典後に行われた記念パーティーではコロナ禍ではありませんでしたが、盛大に行われ、会の終盤では、鳥取、島根両県の会員が登場し、井手添会長並びに足立実行委員長より2023年鳥取・島根大会のPRと参加のお願いをし、2日目を終えました。



次回開催地をPRしました

●3日目

次の開催県という事で2泊共、特別待遇の様で「熊本東急REIホテル」シングルルームに宿泊し、施設のアメニティーサービスを満喫して、快適な朝を迎え、9:00には2ヶ所の視察箇所に向かう為に、熊本城をなごり惜しみながら後にしました。

本日最初の視察先「八千代座」までの風景は、いつも見ている穏やかな広陵地で、心地よく、1時間のバス移動で目的地に着きました。

現在は国の重要文化財であるが、それに至るまでの道のりはたいへん興味を魅かれました。

1910年（明治44年）に、地元旦那衆により建設された芝居小屋です。この地域の古代からの陸川の交通の要で有って、かなりの賑わいだった様です。その後、第二次世界大戦も乗り越え、高度成長には映画館に改装され、娯楽の殿堂として市民の方々には、親しまれました。

しかし、50年前（昭和48年）の第一次オイルショックは、この地域共々打撃を受けて閉館しました。その後、'75年（昭和50年）には、全国の建築学科でブームとなったサーヴェ作業の対象となり、地元熊本大学の工学部により保存調査報告書が作成されました。

そのおかげもあり、'80年（昭和55年）山鹿市に寄付されました。



「八千代座」
木造2階建て
延面積1,487.4㎡ (450坪)
収容人数 700名



しかし、その当時建物は、雨漏りはひどく屋根は裂け腐屋と化していました。その後、市民を中心として八千代座復興期成会が発足し修復保全活動が始まり、'88年（昭和63年）国の重要文化財に指定された事で、更に修復保全が進み現在では、JAZZに始まり、ロック・フォークの音楽・歌舞伎の殿堂として地域の宝と復元活躍しています。

江戸時代の古典的様式に、ドイツ製のレールを使った廻り舞台・天井画など見所も多いのですが、当日は御好意で、ふだんは公開していない小屋裏にも入らせていただき、修復の方法や伝統的木造建築に、西洋建築の技法も見ることができ感動しました。次回来ることがあれば、是非公演中に入りたいと思います。

最後に、八千代座からバスで15分ほどの場所にある「熊本県立装飾古墳館」に移動しました。倉吉の国分寺の風景と似通っていて、なだらかな広陵地で、日本で屈指の前方後円墳である双子塚古墳を有する岩原古墳群が散在している地域の駐車場から、緩やかな湾曲した坂道を10分くらい登っていくと、なだらかに手入れされた芝生の古墳群の丘の先に、近代的な打ち放しコンクリートと浮遊しているグリットガラスが、優しく迎え入れてくれました。

建物が地下を含めて地上1階建てと低層で構成されていて、当日は前日から続く猛暑日のせいか、空の青さと



「熊本県立装飾古墳館」
設計：安藤忠雄
地上1階・地下1階 延面積 2,098㎡ 構造 SRC
アートポリス熊本のフラッグシップとして平成4年竣工

太陽の明るさを照りかえす芝生と打ち放しコンクリートの壁が自然に溶け込み、過去と現在・日常と非日常が、対比と融合が一体と感じました。さすがに築30年経過していますので、コンクリート打放しの状態が気になりましたが、外壁は丁寧に全面補修されており、よく見なければ気づかないほど、竣工当時の美しさを保っていました。又、内部の装飾古墳の展示は、本物は古墳内部に入れないので、レプリカで内部の体験ができるようになっていました。シアタールームもあり非常に分かり易く、楽しめました。

最後にコロナ禍の中、今年度の県外研修を企画された委員の皆様に感謝します。又、皆さん長時間の移動おつかれ様でした。



九州新幹線新玉名駅で熊本ともお別れです

有限会社フジイ総合設計事務所

永 田 靖 氏

【建築の仕事を志したきっかけ】

高校の進路決めの際、正直私は将来どのような仕事をしたいとか、どうなっていたいとかもなく、姉に「建築関係の学校とかは？」と言われて建築を学べる大学に進みました。大学時代にイベントやコンペに参加したり卒業設計等の経験を踏まえ、物をつくることや空間を想像しながら設計していくことが楽しかったので、このまま建築に携わっていきたいと思ったのがきっかけです。気づけば、当社に入社して10年程経っていました。

【最近の業務について】

10年でいろいろな種類の設計監理業務に携わらせていただいているのですが、建物ごとに構造も違えば、必要なものや注視する箇所、設備等も異なっていて、勉強の日々です。

最近は鳥取中部地震以降木造住宅の耐震改修のご依頼が増え、耐震の資料・様々な耐震改修工法の資料を読み漁り、金額や住宅に合った改修方法を選択できるよう悪戦苦闘しながら設計しております。

【心掛けていること】

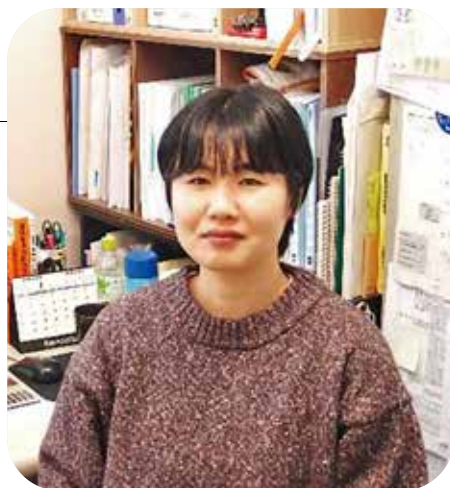
学生の頃から勉強は得意ではなく、何だかんだ遠まわしに避けてきた感じはあります。

それではわかりませんが、調べるということが苦手で、「たしか、多分…」が口癖くらい調べずに発言してしまうことが多く、そのせいで今までの業務でも失敗したり怒られたりした苦い思い出が多々あります。人に正確に物事を伝えることはこの職種に係らず大切なことなので、何事も調べてから行動することを心掛けています。当たり前のことではありますが、…。

これからも学ぶ姿勢を怠らず精進していきたいと思っています。

【息抜き・趣味】

ここ2・3年継続していることが2つあります。1つは友達とダイエットの為に一緒に走ろうと始めたジョギングです。初めて1年程でジョギングはしんどすぎて止め



たのですが、2時間程のウォーキングに切替今でも続いています。ウォーキングでは全然痩せませんが、体型維持が出来ることを信じています。

2つ目はメダカを飼育することです。強い生き物ではあるようですが、結構難しく、容器や水草の配置、水の管理や卵の管理等YouTubeやネットで勉強し試行錯誤しながらお世話に励んでおります。



クリバー一級建築士事務所

穂 近 亮 士 氏



現在の業務

「木の家リフォーム専門店」として、小さな工務店を営んでいます。地元のお客様の様々なニーズに素早く対応すると同時に、断熱改修など省エネルギーフォームをおすすめしています。

使 命

脆弱な断熱環境の住宅において国民の生命や健康が保護されているとは言い難いのではないのでしょうか。室内の急激な温度差がもたらすヒートショックは人災だと思っています。安定した室内温熱環境が病気の改善や予防に役立つことはご承知の通りです。新築は当然ですが、耐震性能向上と共に既存住宅の高気密高断熱化は、建築士であり工務店経営者である私にとっての「使命」となっています。

さらに

戦後の木材輸入自由化、変動相場制から安価な外国産の木材の需要が高まり、国内の林業の衰退をまねきました。

そして昨今のコロナショック・ウッドショック・ロシアのウクライナ侵攻により、サプライチェーンの見直しを取りざたされています。私含め、安価な材料を求め続け、地元の大切な財産を忘れていたついででもあります。仕事上、木材を使用します。鳥取県の森林率は74%（林野庁・平成29年）で、全国平均（67%）を上回ります。鳥取県中部では土地総面積の30%が人工林だそうです。再び注目された国産木材を我々のような工務店は使い続けなければなりません。特に地元を愛する地場工務店が、地元の木材を使って、地元のお客様のお家を工事することは、地元に経済的な影響も与え、持続的な地域社会や地球環境へつながることだと思っています。

高気密高断熱化による住宅での一次エネルギーの削減がCO2排出量を減らすだけでなく、建築物として木材に貯蔵されるCO2量や、森林のもつCO2の吸収力についても、もっとクローズアップされるべきです。地元木材の利用等の地域貢献や脱炭素社会実現に向けて、ためまめ努力と実行をしていきます。

建築とわたし

私は公務員の両親のもとに生まれ、もともと教員を目指して地元の大学へ進学しました。

卒業はしましたが、もっと自由な生き方を求め、結局教員にはなりませんでした。どんな仕事をするか迷う中、親戚の大工さんのところでアルバイトしていたことがこの世界に入るきっかけとなりました。

建物をつくる楽しさや出来上がる喜びは、経験したこともない感覚でした。地元の建設会社に就職し、設計や現場管理にたずさわりました。大きな建物や店舗ではなく、住宅の工事に興味を持ちました。毎日長い時間そこで過ごされる住宅に、お客様の思いも強く、やり切った時の充実感とお客様から得る感謝や信頼は自分のやりがいにもなりました。

天 職

一からのスタートでしたので、知識も技術もなく、現場で迷惑をかけ、お客様や職人さん、先輩に多々怒られたことを思い出します。怒られたら当然落ち込みます！怒られたら、2度と同じ間違いの無いよう意識してきましたし、どんどん自分からいろんな情報や技術を吸収するようになりました。そのような積み重ねが、今度はお客様のお喜びの積み重ねにもつながり、現在の私があると思います。まだまだ勉強不足ですが、今自分がやっているこの仕事はまさに「天職」だと勝手に思っています。

ビートルズと私

いちばんの趣味は「仕事」です。が、他にもあります。そのひとつが「Theくらしビートルズ」でのバンド活動です。

20代のころから、高校の仲間と共に活動を行っています。本家のビートルズは私たちは生まれる前で知りません。ですがビートルズの音楽は現在でもなお世界で愛され続けており、私の地元地域にもたくさんのビートルズマニア様がいらっしやいます。

「仕事」から全く離れ、バンドの仲間やたくさんのビートルズを愛する人たちと過ごす時間は、いまだ夢の中にあるようです。

さいごに

創業してまだ、1年ちょっとです。知らないことが多すぎて困りますが、自分の選択した道で良かったと思っています。自分の残りの人生をかけて、鳥取県や倉吉市、地元に貢献できる工務店を目指します。

今後ともみなさまにはご指導の程よろしくお願いいたします。



鳥取県立美術館



大屋根の下に繰り広げられる様々な活動が主役となって鳥取県立美術館の姿を創り上げる

未来を『つくる』美術館を目指して

鳥取県立美術館は、基本計画に掲げられた「未来を『つくる』美術館」というコンセプトを受けて、アートや人々の活動が主役となるような場の創造を目指している。

敷地は倉吉市、倉吉パークスクエア内にあり、国指定史跡の大御堂廃寺跡に隣接している。この敷地の魅力を最大限に活かすため、コンパクトな平面計画によって豊かな屋外空間を生み出し、南の大御堂廃寺跡に向かって開かれた「ひろま」を中心として、周囲の様々な施設との連携活用が可能となる計画としている。

従来の美術館機能に加え、大屋根の下の開放的な「ひろま」が、居心地の良い人々の交流の場となり、倉吉のまちや自然とつながる拠点となり、地域に根差したコミュニティと文化を育み、広く発信していく美術館となることが期待されている。

多様な文化や活動との出会いを誘発する立体的回遊性

- ・大屋根の下、3層吹抜けの「ひろま」を中心として展望テラスまでつながる立体的な回遊性によって、アートと倉吉の風景とを共に楽しむことのできる魅力的な鑑賞シーケンスを創り出す。
- ・立体的な空間における多様な視線の交錯が、様々な活動との偶発的な出会いを促し、創造性に満ちた空間をつくる。
- ・県産材による木フローリングや格子天井など、木質の内装を施した「ひろま」はパフォーマンスや展示などにも活用できる。
- ・1階の開かれた賑わいのある空間と上階の落ち着いた美術鑑賞のための空間を共に創り出し、気軽に立ち寄る事の出来る敷居の低い美術館と県の施設としての品格を備えた美術館を両立させようとしている。

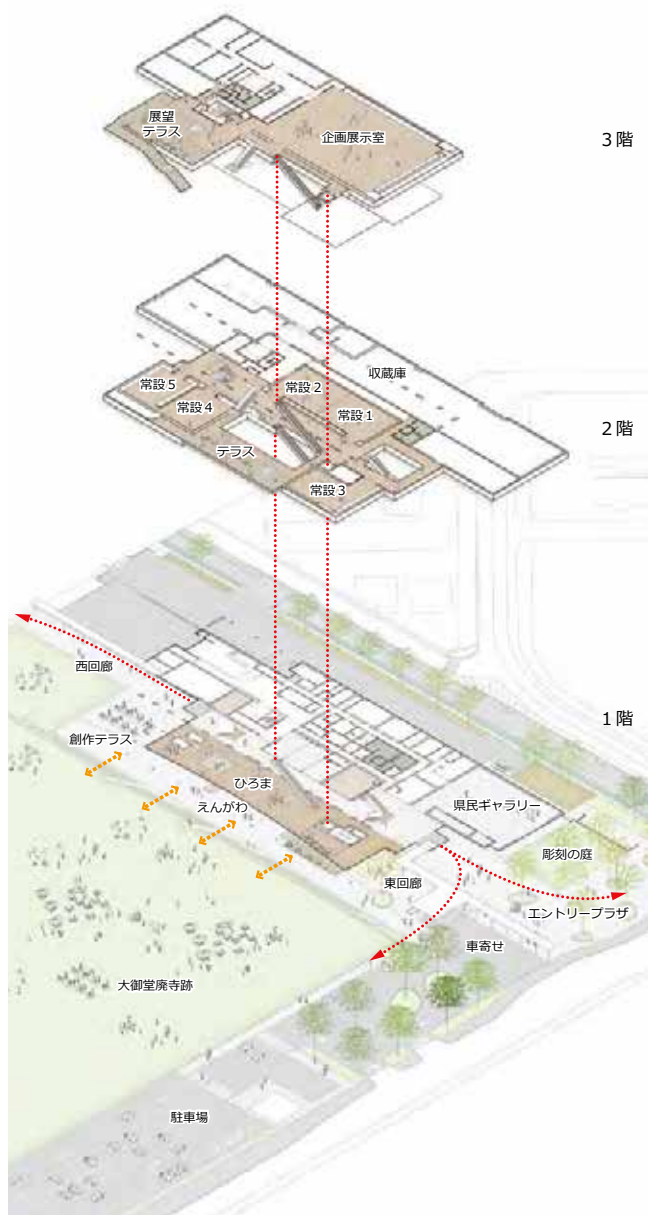


まち全体に広がる文化のネットワーク

白壁土蔵群や倉吉博物館、緑の彫刻プロムナードなど、倉吉の様々な文化資産との連携によって、まち全体に広がる文化のネットワークを構築し、地域の魅力を更に高めていくことを目指している。

南の大御堂廃寺跡は、倉吉市によって歴史公園として整備されることが予定されている。





えんがわを介して大御堂廃寺跡に開かれたひろま

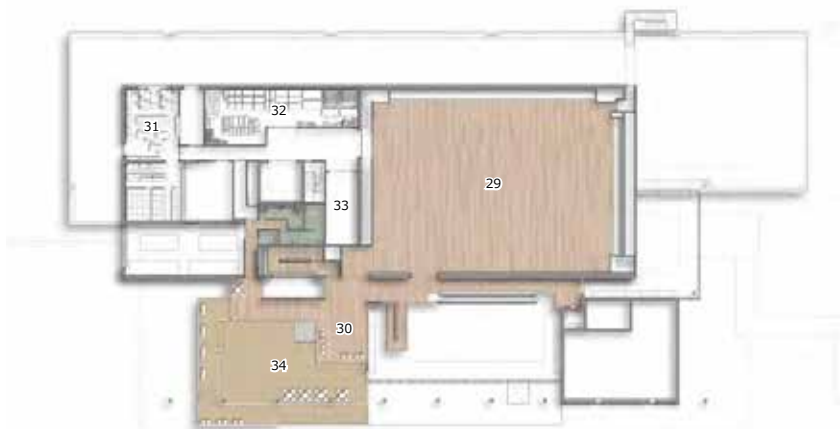


ひろまを中心として多様な活動が展開する

- ・利用者に開かれた部分と作品を守る部分を明快に分けた平面、断面計画によって機能的で分かりやすい施設を実現する。



様々な活動を覆う大屋根がおおらかに人々を迎える



- 29 企画展示室
- 30 特別展示コーナー
- 31 研究室・研究用図書室
- 32 展示設備保管庫
- 33 一時保管庫
- 34 展望テラス

3 階平面図



- 17 常設展示室 1
- 18 常設展示室 2
- 19 常設展示室 3
- 20 常設展示室 4
- 21 常設展示室 5
- 22 東ギャラリー
- 23 中央ギャラリー
- 24 南ギャラリー
- 25 西ギャラリー
- 26 収蔵庫前室
- 27 収蔵庫
- 28 テラス

2 階平面図



- 1 エントランスロビー
- 2 ミュージアムショップ
- 3 カフェテリア
- 4 ひろま
- 5 キッズルーム
- 6 県民ギャラリー
- 7 ホール
- 8 ワークショップルーム
- 9 ボランティア室
- 10 総務事務室
- 11 学芸執務室
- 12 警備員室
- 13 トラックヤード
- 14 エントリープラザ
- 15 えんがわ
- 16 創作テラス

1 階平面図
1:1000



大御堂廃寺跡とその背後の山並みを一望できる展望テラス



ひろまを中心とした立体的な回遊性により、多様な文化との出会いをもたらす



来館者は3層吹抜けのエントランスロビーから奥のひろまへと自然に導かれる



3階 企画展示室：天井高さ5mの展示空間



2階 常設展示室1,2：近代絵画、企画展示室との連携



2階 常設展示室3：彫刻、工芸作品



2階 常設展示室4：写真、版画



2階 常設展示室5：中近世絵画、近代日本画、重要文化財



1階 県民ギャラリーから彫刻の庭を見る

ハイブリッド RC 構法による堅牢性と開放性の両立

収蔵庫・展示室の堅牢性を確保する RC 造壁で囲まれた『箱』と、ひろまの開放性を実現する S 造柱梁で形成された『軽快な空間』との組合せにより、県立美術館に求められる様々な性能を確保している。

上階から下階への水平力の伝達に配慮して、スラブ厚を確保し下階の壁量に十分な余力を持たせることにより、平面計画に応じた耐震壁の配置を可能にしている。

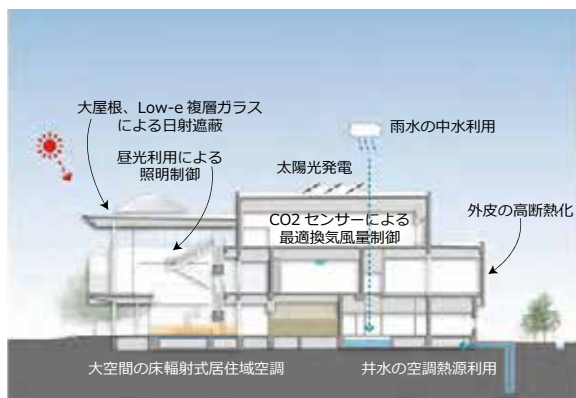
RC 造壁と S 梁のハイブリッドは、大スパン化・軽量化・施工性の向上と工期短縮を実現し、環境に配慮した資源の有効活用にもつながる。

脱炭素社会に向けた環境配慮の取組み

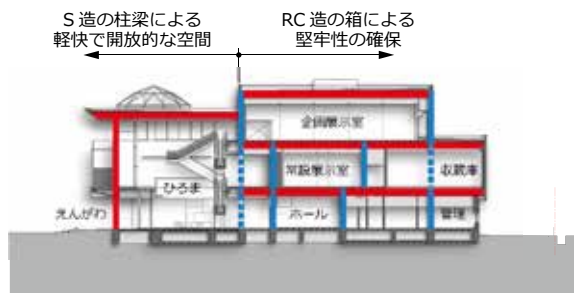
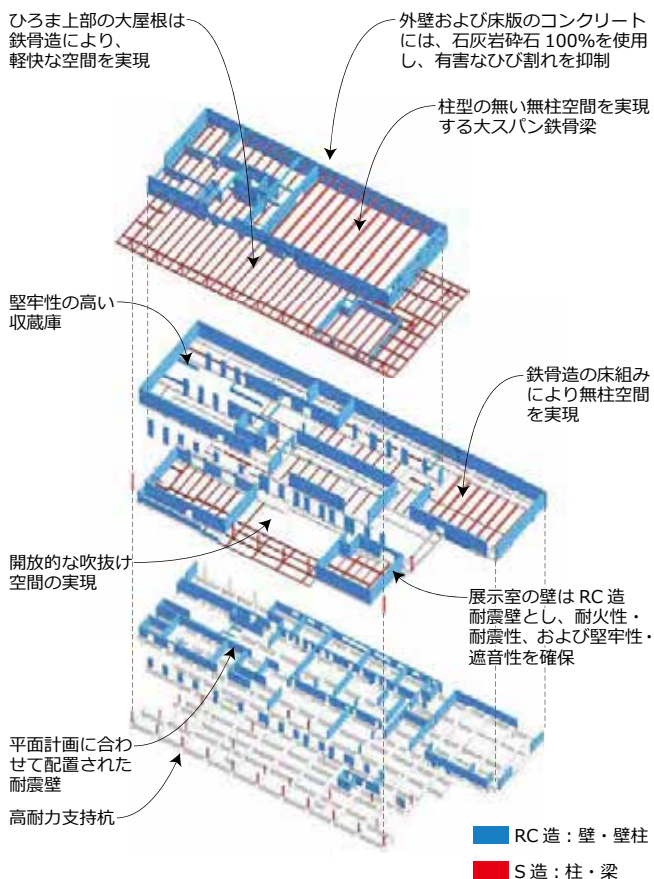
外皮の高断熱化や大屋根や高性能ガラスによる日射遮蔽などによる外皮熱負荷の抑制に加え、太陽光発電パネルによる創エネルギーや井水の空調熱源利用などの自然エネルギーの活用にも取り組んでいる。

ひろまの床輻射式冷暖房など設備システムの高効率化とともに、BEMS システムの導入などによって、運用段階でのエネルギー消費の最適化を図る。

これらの取組みにより CASBEE とっつりの S ランクを取得した。



環境に配慮した様々な取組み



構造ダイアグラム



倉吉の豊かな自然環境と一体となった、新たな情報発信の拠点を創造する



2022 年 11 月の建設状況 撮影：竹中工務店

BTO 方式の PFI 事業による公立美術館

鳥取県立美術館は BTO 方式の PFI で整備され、指定管理期間も含め事業期間は 2040 年 3 月までの 20 年間である。公立美術館において設計から建設、運営、維持管理までを行う PFI 事業は全国初の試みである。

鳥取県内の企業を含む 10 社で構成された SPC が、県と一体となって、2025 年春の開館を目指して事業を進めている。

建築設計： 榎総合計画事務所
 構造・設備設計： 竹中工務店
 ランドスケープ： オンサイト計画設計事務所
 照明： LPA
 サイン： 島津環境グラフィックス
 施工： 竹中・懸樋・丹青共同企業体

設計期間： 2020 年 4 月～2021 年 12 月
 施工期間： 2022 年 1 月～2024 年 3 月（予定）
 開館： 2025 年春（予定）
 指定管理期間：2040 年 3 月まで

所在地： 鳥取県倉吉市駄経寺町 2 丁目 3-9, 12
 敷地条件： 商業地域 準防火地域
 敷地面積： 17,892 m² (13,611 m² + 4,281 m²)
 延床面積： 10,599 m²
 建物規模： 地上 3 階
 最高高さ： 21.2m
 構造： RC 造、一部 S 造・SRC 造
 耐震壁を有するラーメン構造
 基礎： 杭基礎（既成コンクリート杭）

鳥取県立美術館パートナーズ株式会社

大和リース
 竹中工務店
 アクティオ
 丹青社
 三菱電機ビルソリューションズ
 山陰リネンサプライ
 懸樋工務店
 富士総合警備保障
 セコム
 榎総合計画事務所



株式会社 白兎設計事務所

米子市淀江どんぐりこども園



株式会社 リンクス

元町病院 リハビリテーションセンター

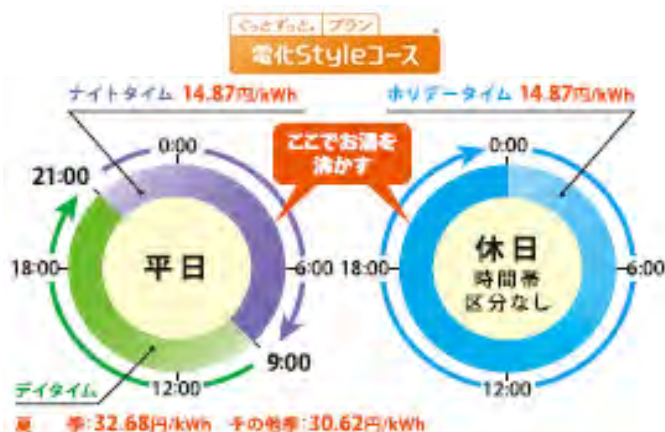


快適!安心!

電化生活はじめませんか?

エコキュートは、**空気の熱を利用して**
お湯を沸かすので省エネで経済的!

主に電気料金単価が割安な夜間の時間帯に
お湯を沸かします。



(注) 中国電力「電気サービス約款(2021年4月1日実施)」による料金
単価であり、変更となる可能性があります。

■エコキュートの仕組み

エコキュートは①の電気エネルギーを使って②の大気エネルギーをくみ上げることで、③以上の熱エネルギーを得ることができます。



便利&快適な
機能がいっぱいの
エコキュート



高圧力型タイプで
シャワーも快適



湯はりから保温まで
ボタンでワンタッチ



沸き増し機能対応型で
お湯切れを防ぎます



おまかせ制御で
ムダなく沸き上げ



灯油の購入や
給油の手間なし

電気の使用量・料金を
スマホで確認!!
簡単便利に

1

LINEで!



お知らせを受け取るだけで、
毎月、LINEポイントが
5ポイントもらえておトク!
対象のお客さまにのみです。
詳細は、WEBでご確認ください。

※LINE株式会社は、本プロモーションのスポンサーではありません。
※LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の登録商標です。

サービスの詳細・お申し込みは、WEBで!

中国電力 LINE



2

ショートメッセージサービス
(SMS)で!

サービスの概要・お申し込みは、当社
カスタマーセンターへお電話ください。
お問い合わせ先はこちら



【お問い合わせ】

中国電力株式会社

(鳥取) 0120-181-210

(倉吉) 0120-212-605

(米子) 0120-211-426

受付時間 9:00~20:00

(月~金曜日・祝日除く)

<https://www.energia.co.jp/>



不可能を可能に!! クイックボーン

先行床施工式フロア懸シム足場



3つの ポイント! High-spec floor solution!

- ①最大5mの先行床工法で、今までは困難な足場架設を可能に!
- ②安全でスピーディーな足場架設で、工期を短縮! (当社実績で5分の1)
- ③重量物を吊足場上へ積載が可能! 中段足場の積載!

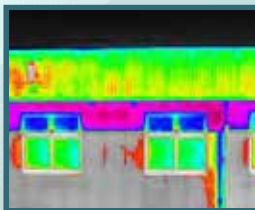
詳しくはお問い合わせください

その他事業内容

- 1. 仮設資材のレンタル(枠組足場・クサビ緊結式足場・単管類・各種安全設備)
- 2. 仮設足場工事の施工
- 3. 仮設計画図・強度計算書の作成

4. 外壁赤外線ドローン調査

建築物の調査には様々な目的があり、改修工事における外装仕上げ材の修繕箇所の特定、改修工事を計画時の概算費用算出の為の基本資料作成、特殊建築物定期調査における外壁の全面打診等による調査や漏水(雨漏り)調査など、多岐にわたります。それぞれの調査目的に合わせて、ドローンや足場を使っての打診などの調査方法を提案することにより、お客様の負担を減らしつつ、習熟度の高い調査結果を得ることができます。



- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| ■ 住宅屋根劣化調査 | ■ 住宅外壁劣化調査 | ■ 土木建築用途での撮影 |
| ■ アパート屋根劣化調査 | ■ マンション外壁劣化調査 | ■ 太陽光パネル診断 |
| ■ 工事屋根劣化調査 | ■ 竣工写真・竣工動画撮影 | |

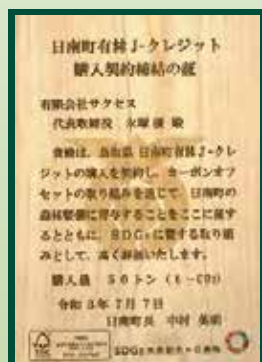
用途



ACCESS MAP
所在地: 〒680-1414 鳥取市下段253-1

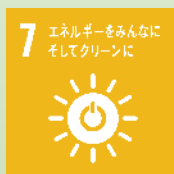


総合解体工事業・産業廃棄物処分量



日南町有林Jクレジット制度購入

カーボンオフセットの取組を通じて
SDGsの取組も行っています。



有限会社サクセスは、環境問題・廃棄物の適正処理
を推進し、循環型社会形成の構築を目指します。

事業内容

総合解体工事業

- ・住宅・ビル・橋・煙突・機械設備等の解体工事
- ・アスベスト除去工事

産業廃棄物処分量(中間処理)

取扱い品目
廃プラスチック類・木くず・紙くず・繊維くず・金属くず
ゴムくず・ガラスくず・陶磁器くず・コンクリート・がれき類
以上8品目(石綿含有廃棄物及び特別管理業廃棄物を除く)

取得許可

一般建設業	鳥取県(解体、土木、建築、とび・土工、舗装)
鳥取県版環境管理システム	TEAS I種
産業廃棄物処分量	鳥取県
産業廃棄物収集運搬業	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、兵庫県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	鳥取県、島根県、岡山県、京都府



再生碎石 Rcc-40

弊社の再生碎石(Rcc-40)は
鳥取県認定グリーン商品です。
路盤材・埋戻材などとして
ご利用下さい。



SK550導入しました

お問合せ先

〒683-0101 鳥取県米子市大篠津町3197



有限会社 **サクセス**
SUCCESS CO.LTD

TEL (0859) 25-6565
FAX (0859) 25-6566
E-mail info@success-ltd.co.jp
URL <http://www.success-ltd.co.jp/>

ユーチューブ始めました。 有限会社サクセスで検索して御覧下さい。



自走式立体駐車場
3層4段 フラット
収容台数 219台



倉庫(2611m)



スーパーマーケット(3,609.8m)

価値ある空間へ SPACE is VALUE



事務所(296m)



観光案内所(55m)



機材格納庫(108m)



仮設校舎(1,914.6m)



保育園



システム建築と立体駐車場の総合メーカー

日成ビルド工業株式会社

米子営業所 〒683-0812

鳥取県米子市角盤町2丁目55 角盤町コモド・ワン6階-A

☎(0859)32-9900 / FAX (0859)32-9880

本社: 金沢市金石北3丁目16-10 ☎(076)268-1111(大代)

全国40営業店・生産センター7拠点

東京支社 ☎(03)5418-5901

大阪支店 ☎(06)7669-8950

神奈川支店 ☎(045)470-3391

札幌支店 ☎(011)252-5051

仙台支店 ☎(022)388-7515

名古屋支店 ☎(052)533-4730

静岡支店 ☎(054)237-2341

広島支店 ☎(082)263-6255

福岡支店 ☎(092)473-6331



お客様の満足の**その先**へ…

MORRIX

株式会社モリックスジャパン

本 社 鳥取市商栄町203-6

TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 倉吉市幸町529番地

ユーミーレジデンス1-3号

TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452



**モッちゃん
モリシタ**

厨房機器・ボイラーの設計施工・販売・メンテナンス

株式
会社 **森下久平商店**

〒680-0055 鳥取市戎町119番地2 (若桜街道中央)

TEL (0857) 26-2011(代) FAX (0857) 26-2013

E-mail : info@k-morishita.co.jp

山陰パナソニック株式会社

〒680-0913 鳥取県鳥取市安長295-1
TEL 0857-23-1051 FAX 0857-23-1088
HP <http://www.sanin-panasonic.jp/>

期待を超える、感動を！

あなたの暮らしを、たすけ隊。

ほんの少しの困ったこと、私達にお任せください。
照明器具が暗い…コンセントが…台所、お風呂、トイレの困ったこと…
火災報知器を取り付けたい…などなど、あなたの街の小さな困ったを解決します。
我ら「住まいのおたすけ隊」まずはお気軽にお電話ください。



本社

鳥取県米子市西福原6丁目6番10号
TEL 0859-33-8470

鳥取営業所／TEL 0857-23-3939

倉吉営業所／TEL 0858-48-1205

境港営業所／TEL 0859-44-6261

●境港営業所
●倉吉営業所
●鳥取営業所
本社／米子

お問い合わせは、お近くの岡田電工へ。



岡田電工

岡田電工

検索

会 議 報 告

■令和4年度定時総会

日 時／令和4年5月20日(金)14:30～
場 所／倉吉シティホテル
出席者／会員28名、委任出席62名、欠席29名
議 題／議案の審議
第1号議案 令和3年度事業報告
第2号議案 令和3年度収入支出決算承認の件
(令和3年度監査報告)
報告事項
令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算
【令和4年3月28日理事会承認】



■令和4年度事業等監査会

日 時／令和4年4月26日(火)11:00～
場 所／事務所協会事務局
出席者／監事、会長

■第1回理事会

日 時／令和4年5月11日(水)13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／理事18名、監事1名
議 題／議 案

令和3年度事業報告について
令和3年度収入支出決算報告について
上記に係る監査報告
令和4・5年度役員改選について
正会員の入会の可否について
協議事項
令和4年度年次労務者表彰候補者の推薦について
令和4年度 委員長・副委員長会議の開催について
本協会顧問・相談役の選任に係る対応について
報告事項
ポケット版会員名簿の発行について
会議等開催状況
今後の日程

■臨時理事会

日 時／令和4年5月20日(金)15:00～
場 所／倉吉シティホテル
出席者／理事18名、監事1名
議 題／議 案
令和4・5年度 会長、副会長、専務理事の選定について
令和4・5年度 顧問、相談役の選任について

■第2回理事会

日 時／令和4年6月20日(月)14:00～
場 所／倉吉シティホテル
出席者／理事17名、監事3名
議 題／議 案
委員会及び部会の委員の選任について
賛助会員の入会の可否について
協議事項
令和4年度 委員長・副委員長会議の開催について
第44回全国大会(熊本大会)、青年話創会及び県外研修会の実施について
令和5年度全国大会の島根会との打合せについて

鳥取県中規模建築物木造ガイドブック版下
作成業務について
「県との意見交換会」開催日程について
報告事項
会議等開催状況
今後の日程

■第3回理事会

日 時／令和4年8月3日(水)10:00～
場 所／協会事務局(Web会議)
出席者／理事16名、監事1名
議 題／議 案
特別委員会委員の選任(案)の承認について
中規模木造ガイドブック版下作成業務受託に係る特別会計(案)他の承認について
協議事項
県外研修会の実施概要について
全国大会に係る島根会との打ち合わせについて
「県との意見交換会」の議題について
報告事項
会議等開催状況
今後の日程

■第4回理事会

日 時／令和4年9月22日(木)10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／理事20名、監事3名
議 題／協議事項
「県との意見交換会」提出議題について
全国大会に係る島根会との打ち合わせについて
報告事項
県外研修会の実施概要について
木の住まいフェア2022の実施について
会議等開催状況
今後の日程

■第5回理事会

日 時／令和5年1月10日(火)10:00～
場 所／協会事務局(Web会議)
出席者／理事16名、監事2名
議 題／議 案
賛助会員の入会の可否について
第45回建築士事務所全国大会実行委員会の設置規程について
令和4年度特別会計(全国大会関係)収支予算書の費目変更について
協議事項
令和5年度全国大会役員の一部変更について
全国大会に係る実施要領等(案)について
令和5年新年互礼会開催の可否について
報告事項
島根会との打ち合わせ結果概要(10/31)について
熊本会との打ち合わせ結果概要(11/28)について
令和5年度日事連建築賞の実施について
「県との意見交換会」結果報告について
会議等開催状況
今後の日程

■第1回三役会

日 時／令和4年4月28日(木)10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
第1回理事会 提出議案について
令和3年度事業報告について
令和3年度収入支出決算報告について
上記に係る監査報告
令和4・5年度役員改選について
正会員の入会の可否について
協議事項
令和4年度年次労務者表彰候補者の推薦について

令和4年度 委員長・副委員長会議の開催について
本協会顧問・相談役の選任に係る対応について
ポケット版会員名簿の発行について
報告事項
会議等開催状況
今後の日程

■第2回三役会

日 時／令和4年6月6日(月)13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
第2回理事会 提出議案について
委員会及び部会の委員の選任について
協議事項
令和4年度 委員長・副委員長会議の開催について
第44回全国大会(熊本大会)、青年話創会及び県外研修会の実施について
令和5年度全国大会の島根会との打合せについて
報告事項
会議等開催状況
今後の日程

■第3回三役会

日 時／令和4年7月19日(火)13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
第3回理事会 提出議案について
特別委員会委員の選任(案)の承認について
中規模木造ガイドブック版下作成業務受託に係る特別会計(案)の承認について
協議事項
県外研修会の実施概要について
全国大会に係る島根会との打ち合わせについて
報告事項
会議等開催状況
今後の日程

■第4回三役会

日 時／令和4年9月6日(火)10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
協議事項
「県との意見交換会」提出議題について
全国大会に係る島根会との打ち合わせについて
報告事項
県外研修会の実施概要について
会議等開催状況
今後の日程

■第5回三役会

日 時／令和4年12月22日(木)13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
第5回理事会 提出議案について
賛助会員の入会の可否について
第45回建築士事務所全国大会実行委員会の設置規程について
令和4年度 特別会計(全国大会関係)収支予算書の費目変更について
協議事項
令和5年度全国大会役員の一部変更について
報告事項
会議等開催状況
今後の日程

■正副委員長会議

日 時／令和4年6月20日(月)15:00～

場 所／倉吉シティホテル
出席者／会長、副会長、各委員会正副委員長
議 題／1.委員会等事業計画の検討
2.各委員会の主たる議題
(1)総務・企画委員会
・会員の増強等組織拡充の取り組み
・苦情の解決業務の実施
・令和5年「第45回建築士事務所全国大会」
(鳥取・島根共同大会)の実施体制の検討、調整
・行政機関との相互連携及び事業推進に係る業務協力
・地域研修・研究事業活動の活性化
(2)広報・編集委員会
・協会の広報活動
・令和4年度 建築士事務所のキャンペーン実施
・会員名簿の改訂について
(3)業務・技術委員会
・「建築士定期講習」(法定講習)の開催(建築士会と共催)
・「開設者・管理建築士のための管理研修会」
(知事指定講習)の開催
・業務・技術に関する講習、講演会、視察等の検討
・建築工事特記仕様書の編集・発行
・高齢者居住住宅の改修事業への協力
・適合証明業務講習会の開催
・特定建築物の定期調査等の推進

■第1回広報編集委員会

日 時／令和4年8月19日(金)13:30～
場 所／湯梨浜町中央公民館羽合分館
出席者／担当副会長、委員長、副委員長、委員
議 題／会誌「建築とっとり」103号の刊行について
(1)発行時期について
(2)ページ構成について
(3)有料広告について
(4)その他
オンライン木の住まいフェア2022
「無料相談会」の実施について

講 習 会

■令和4年度一級/二級/木造建築士定期講習(第2期)

日 時／令和4年8月5日(金)9:30～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／28名

■令和4年度一級/二級/木造建築士定期講習(第4期)

日 時／令和5年2月8日(水)9:30～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／13名

■「既存住宅状況調査技術者」講習【新規講習】

《会場講習》
日 時／令和4年5月27日(金)9:20～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／5名

《オンライン講習》

期 間／令和4年6月1日～21日
受講者／3名
期 間／令和4年11月1日～21日
受講者／4名
期 間／令和5年2月15日～21日
受講者／2名

■「既存住宅状況調査技術者」講習【更新講習】

《会場講習》
日 時／令和4年10月14日(金)9:20～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／1名
《オンライン講習》
期 間／令和4年6月1日～21日
受講者／1名
期 間／令和5年2月15日～21日
受講者／1名

■適合証明技術者業務講習

《オンライン講習》
期 間／令和4年11月30日～12月13日
受講者／2名

■開設者・管理建築士のための建築士事務所 の管理研修会

日 時／令和4年11月25日(金)10:00～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／9名

■実例に学ぶ 建築士事務所のトラブル予防 研修会

日 時／令和4年11月11日(金)9:00～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／4名

■実務者のための工事監理ガイドラインの 運用解説講習会

日 時／4年11月11日(金)13:00～
場 所／伯耆しあわせの郷
受講者／9名

建築物耐震診断等評定業務

■第67回鳥取県耐震診断等評定委員会

日 時／令和4年11月15日(火)
場 所／事務所協会事務局(W e b 会議)
対象建物(県有施設)3棟

■鳥取県耐震診断等評定委員会(専門委員会)

第67回 令和4年10月25日(火)(事前審査)
令和4年11月4日(金)(指摘事項確認)

受託業務

■鳥取市住宅改修指導員派遣事業

実施件数 令和4年度 6件

■各市・町 木造住宅耐震診断業務(令和5 年2月現在)

鳥取市69件、倉吉市23件、米子市34件、境港市35
件、岩美町3件、八頭町4件、北栄町4件、三朝町1
件、伯耆町1件

■鳥取県木造住宅耐震化専門業者公表審査

日 時／令和5年2月16日(木)13:10～
場 所／伯耆しあわせの郷
参加者／7名

会員の異動

■正会員入会(令和4年4月～)

エーアールティー(株)
〒683-0852 米子市河崎699
TEL:0859-36-8640
FAX:0859-36-8644
開 設 者：北村 涼
管理建築士名：北村 涼

■賛助会員入会(令和4年4月～)

(株)建築構造センター 山陰事務所
〒690-0874 島根県松江市中原町6
TEL:0852-60-0144
FAX:0852-60-0145
担当者名：青木 健司
福井コンピュータアーキテクト(株)中四国営業所
〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町16-35
TEL:0570-039-291
FAX:082-236-8131
担当者名：三宅 啓文
(有)テクノサービス
〒689-1122 鳥取市船木133-7
TEL:0857-54-1888
FAX:0857-54-1889
担当者名：山根 真

行事予定

■4月

21日(金) 令和4年度事業等監査会
24日(月) 第1回三役会

■5月

8日(月) 第1回理事会
19日(金) 令和5年度定時総会 倉吉シティホテル

編集 後記

以前は鳥取の冬空ときたら、鉛色の雲がしっかりと覆いかぶさり重い空気が漂っていました。しかし今年は、
靑空がよく見受けられました。温暖化の影響と思われます。

建築は、社会情勢経済の写し鏡とも言われていますが、その情勢は成長と衰退が同時に発生して、この冬空の様
です。

特にインドの急成長が現実となり、今後世界の多極化が加速される事が予想されます。これらの影響は、県内に
直撃弾は受けないでしょうが、複合的に現れてくる事でしょう。

あらためて“平和”という二文字が、娯楽の殿堂のブランド名でなく、その言葉の重みを感じる時代になりました。
このたびの、“建築とっとり”103号発行にあたりましては、田栗事務局長を始め、委員、協会員及び賛助会員の方々
の多数ご協力有難うございました。

次号発行につきましても、ご協力の程よろしく申し上げます。

広報編集委員長 丁 田 勝 功



表紙の写真は、現在建設中の鳥取県立美術館の着工前の敷地です。雄々しい裏大山を後方に従え、ほどよい近さに丘陵地とおだやかな打吹山に囲まれている。

この地は古代は仏教により、昭和の時代は紡績工場等経済によりこの地域を支えました。

そして、戦後建築界における中興の祖である岸田日出夫氏のもと、若き日の丹下健三氏により計画された先進的都市計画の要でもあります。

開館すると、芸術文化の振興により新たに豊かな地方都市の扉が、大きく開かれる事が期待出来ます。

(文：丁田 勝功)

建築とっとり 2023.3 第103号

発行／一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会

〒680-0022 鳥取市西町2丁目102 西町フロインドビル2F
TEL.0857-23-1728 FAX.0857-21-6112

URL: <http://31kjk.com> E-mail: jimu31@kdt.biglobe.ne.jp

編集：広報編集委員会